

# 教育民生常任委員会調査報告

## 高齢者の冬季生活支援事業 「のくとい館」・・・社協で集合住宅を運営！

高山市（岐阜県）



教職員住宅を改修 「のくとい館」

伯耆町議会教育民生常任委員会（小村公洋委員長以下七委員）は、次の調査を行った。

- ・ H 24 10 / 24 ～ 10 / 25 まで岐阜県高山市の社会福祉協議会に伺い調査。

◎調査したことから

- ・ 豪雪地帯での高齢者の生活支援について

**野麦峠近くの「集合住宅」  
高齢者が十二月～三月まで安心して生活  
社協職員が発案→市も助成へ！**

### 調査の概要

- ・（高山市＝二、一七七平方キロメートルで日本一広い面積の市、人口約93千人）
- ・ 「のくとい館」＝教員住宅のPC3Fを改造した普通の集合住宅。

### のくとい館

- ・ 12月～3月まで、各居住室に入居。
- ・ 入居料は、月額12千円（朝食・夕食付き）
- ・ 24年度からは、家族からプラス10千円集金。

（注）「のくとい」は、「ほんのりとした」の意味。

- ・ 社協が、国や市の助成を得て改造、運営。
- ・ 長野県の野麦峠に近く2～3mの積雪とマイナス20℃となる冬場の厳しい地区。



ボランティアによる雪おろし

- ・ 留守中の雪おろしは、ボランティアなど。
- ・ 留守中の仏壇や犬や猫の問題もある。
- ・ 若者などとも交流
- ・ 今後は、運営費や自宅



利用者の日常の様子

にもどったときのケアが必要。

**まとめ**

- ・ 市の社協職員の、がんばりと積極的な取り組みには、大いに学ぶべき点が多々あった。



ボランティアとの交流